

東白石中学校



Thanks Mail 北陸銀行白石支店

この度の職場体験学習では皆様にあたたかく迎えていただき、本当にありがとうございました。その上、普段はなかなかできない貴重な体験をさせていただき、とても勉強になりました。お札の数え方やその重み、銀行の役割など、たくさんのお話を学ぶことができました。金庫の厚みを見たときは、とてもすごいなと思いました。とてもよい経験になりました。 2年 M・S



初めての経験に意欲的 “社会人になったとき、役立つことを身に付けて”

「社会のことをたくさん学びたい」と銀行にやって来た男女6名の生徒は意気込み十分。まずは、会議室で支店長補佐による講義です。部屋へ運ばれてきた100万円分の千円札の束を見て、思わず「わあ!」と声を上げる生徒たち。「重さはどのくらいだと思いますか?」というクイズに、お札の束を順番に持たせてもらい「1kgくらいかな」「けっこう重い」と、ドキドキした様子で重さを確かめます。答えは1kg。予想が的中した生徒はにっこりとうれしそうです。続いて、お札の数え方を習います。1人10枚ずつお札を借りて指使いを丁寧に教えてもらいますが、素早く正

確に数える技はそう簡単に身に付くものではありません。何度もお手本を見せてもらってはプロの鮮やかな手さばきに目を見張り、再び黙々と練習を続けます。「難しい」と言いつつも、練習を重ねるうちに手の動きがなめらかになってきました。

次はロビーに出て接客に挑戦です。生徒たちは少し緊張した様子でしたが、しっかりした口調で「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」とお客様に挨拶できました。その光景を見守っていた支店長補佐は「今日の体験で、将来役立つマナーやプラスになることを覚えていって欲しいですね」と

北陸銀行白石支店

微笑ましように語ってくださいました。



力を込めてゴシゴシと 陰の仕事を体験して得た“清々しい疲労感と充足感”

男風呂、女風呂に各50席もある銭湯に伺ったのは、よく家族とこちらを利用していると言う男子3名。この日は開店前の浴室清掃を体験しました。

洗い場の清掃は手作業が中心。生徒たちは両手にスポンジを持ち、すみずみまで手を抜かず磨きます。運動部員でタフな彼らでさえ「腕が疲れる」と参ってしまうほど重労働ですが、この作業をいつも女性スタッフだけで行っているそうです。「細かい溝がたくさんあり、きれいにするのに時間がかかる。力を使うし、席も多いので、毎日掃除するのは本当に大変だと思う」「今度ここに来るときは、設

備を汚さないよう気をつけたい。みんなにもきれいに使ってほしい」「掃除中にたくさん忘れ物を見つけ、その数の多さに驚いた」と、真剣な表情で話していました。

手作業の後は、高圧洗浄機を使用して仕上げです。しかし、水の勢いが強く振動も激しいため、手が震えてなかなかうまくコントロールできません。生徒たちは機械と懸命に格闘しながら、壁や床、鏡はもちろん、台の裏までしっかり清掃しました。最後に椅子と桶をきれいに並べて作業は終了です。3人はピカピカになった浴室を満足そうに見渡していました。従業員の方は彼らのひたむきな姿に深く感

南郷の湯

心。頑張ったご褒美に、開店前の一番風呂をいただきました。



レジ業務の訓練を通して知った、 お客様へのさり気ない“思いやり”

コンビニ業務の体験に訪れた男女各2名の生徒たち。さっそくお店の制服に着替え、胸に「実習生」のプレートをつけました。

午前中は挨拶や身だしなみなどの説明を受け、午後はいよいよレジ業務に挑戦です。カウンターの内側に入り、ピッと気が引き締まった4人は、店長によるレジの操作説明と接客実演を熱心に見ています。「難しそう」と不安そうな声も出ましたが、とにかくチャレンジです。1人ずつ交代でレジに立ち、実際の商品で何度も練習します。店長のアドバイスを受けて必死に取り組みものの、手つきはおぼつかず、声もうまく出せません。「レジ

業務は慣れるまで時間がかかるもの。せめて、挨拶や金額はお客様にはっきり聞こえる声で言ひましょう。伝えることと、心配りを意識して」と助言をいただきました。

「レジの操作で頭がいっぱいで、お客様のことまで気を回せなかった。大きな声も出す余裕がなかった」「商品の大きさ順にレジに通したり、お釣りの渡し方にもコツがあるなんて知らなかった。お客様の立場でいろいろな気配りをしているとわかった」「相手のことを考えてする」という姿勢はとても勉強になった」と、口々に言う生徒たちは、仕事の難しさとともに心のこもった接客を学び取り、充実した

サンクス南郷店

時間を過ごせたようです。



北白石中学校



Thanks Mail 介護老人保健施設 コミュニティホーム白石

私は今回の職業体験でいろいろなことを学ばせていただきました。最初にした、シーツかえは、丁寧に教えていただき、なるべく、しわのないように心がけました。他にも、お年寄りの髪を乾かしたり、体温を計ったりなどいろいろな事を体験させていただきました。最初は、自分に来るのか、すごく心配でしたが、だんだん出来てきたりするものが、すごくうれしかったです。お年寄りの方々もだんだん話しかけてくれたりするのもすごくうれしかったです。介護はすごく大変で、すごく難しそうでした。今日はいい体験をさせていただき、本当に、ありがとうございました。 2年 H・S



“優しい気持ちがあれば大丈夫” 目標への道しるべを見つけた日

「母が介護の仕事をしている」「将来は介護の仕事に就きたい」と、しっかりした目的意識を持ち訪れた3名の女子生徒。ここは専門スタッフが医療、看護、介護などを行い、高齢者の自立を援助する施設です。生徒たちは、初めて体験する介護の現場に戸惑いながらも、一生懸命手伝います。ここでの仕事は、シーツ替え、洗濯物畳み、食器洗浄、掃除など、家でもすることですが、その量が膨大です。3人は「大変でした」と言いながらもやり遂げて満足そうです。

午後からは入浴タイム。生徒たちは各自ドライヤーを手に、入浴後の入所者さんたちの髪を乾かし

す。「くしが耳に当たらないように注意しました」「熱くないように、調整しながらドライヤーを当てました」と、細やかな気遣いも忘れません。

「人と関わるのが楽しい」と言う生徒に「仕事全体の流れが円滑にいくように、ゴミ集めなどの間接的な仕事もここでは大事なですよ」と話すスタッフの方。「頭の回転が速くないと、この仕事はできませんか?」と心配して質問する生徒に、「人の気持ちを思いやる優しい気持ちがあれば大丈夫」とアドバイスをいただきました。忙しい現場を体験し、「介護の仕事は想像以上に大変だったけど、やってみ

介護老人保健施設 コミュニティホーム白石

たい」と希望に満ちた表情で話してくれた生徒たちでした。



たった1人で職場体験 名刺交換と設計の仕事に奮闘

「専門的な業務なので実践は難しいのですが、今日は会社の1日の様子と、設計図や予算書を思い通りに作る楽しさを感じてくれたらと思います」と話すのは指導に当たってくれる社員の方。対する男子生徒は当日になって1人で参加することになり、とても緊張しているようです。訪問先の北開工営は、道路、トンネル、上下水道など土木建設の調査や設計を行う会社です。

まず体験したのは、パソコンを使っての名刺作り。名刺が完成すると、早速、社員の方と名刺交換をするために各フロアを回ります。両手で名刺を持ち、自分の名前を

言いながら名刺を差し出すのは、もちろん初めての体験。社員の方の注目を浴びながら、男の子は少し硬い表情で「どんな仕事を担当しているのですか」と質問してみます。反対に、名刺に書いた所属クラブについて社員の方から「ソフトテニスは楽しいですか?」と尋ねられて「はい」と元気に答えるなど、和やかな場面もありました。

名刺交換のあとは、実際の業務で使用しているソフトウェアを使って、公園を設計しました。好きな遊具を選んで園内に配置し、その工事費を計算。そして、最終的には公園の完成図と予算書を作成しました。

北開工営(株)

たった1人で参加し、プレッシャーを感じながらも用意されていた仕事をしっかりこなした1日でした。



“根気と丁寧さ” こつこつとがんばる意義を学んだ1日

クリーニング店から集められた洗濯物を洗浄する工場を訪れたのは、2名の男子生徒。洗濯の工程を見学した後は、それぞれ持ち場に分かれて体験です。

1人は、洗濯直後の濡れたシャツをハンガーに掛ける作業を担当。「たまに家で手伝っている」と言いますが、スタッフの方から形を整えて掛け、ハンガーは同じ方向に揃えるよう教えられます。「単純作業ですが、根気よく丁寧に続けることは、普段の生活、勉強、クラブ活動、何にでも役立つはず」と優しく言うスタッフの方。緊張した表情で始めた生徒は、途中で集中が切れて掛け方が雑になることもあ

りました。でも、担当分のシャツをすべてきれいに掛け終わるまで、がんばりました。その数50枚以上。大量のシャツが規則正しく並んでいる様子を見て、生徒は安堵の表情になりました。

一方、ワイシャツのボタン掛けを担当した生徒は、専用の器具を使いこなすのに四苦八苦。でも、「不器用なのでうまくできません」と言いながらも、決してスピードを緩めないがんだりぶり。集中して続けていくうちに、めきめきと上達してきました。スタッフの方が「いい調子だね」と声をかけると、ほっとした様子で笑みがこぼれ、次のボタンに勢いよく取りかかりました。

(株)大室洗染所

途中で投げ出さず、最後まで取り組んだ2人は、こつこつとがんばる意義を身体で学んだようです。

